



工学系研究科都市工学専攻

構造理論、耐震技術、地盤環境、水環境、防災、交通計画、都市計画、都市デザイン、建築計画・デザイン、建築環境等に関するより高度な専門教育および研究を行います。

研究室配属

指導教官の指導の下で、自らの発想を大切にしながら卒業研究に取り組みます。

コースで学ぶこと

自らの志向と意志で他コース科目も含めて専門科目を選択できます。ただし卒業要件として、コース科目および共通科目から34単位を含み、42単位以上取得することが求められます。

都市環境基盤コース科目（例）

地盤工学実験演習、地盤環境学、水工水理学、流域水工学、水環境システム工学、環境衛生工学、廃棄物処理 など

共通科目（例）

構造力学実験演習、建設施工・維持管理工学、都市防災工学、鉄骨構造学、都市交通計画、都市・地域環境計画 など

建築・都市デザインコース科目（例）

建築デザイン手法、居住環境計画、地域施設計画、建築都市デザイン演習、建築空間史、建築法制度とデザイン、建築環境工学 など

コース配属前に学ぶこと

専門教育を受ける前に、基礎学力を養い専門で用いる数学・力学を学びます。

2年生前期には、コースで学ぶことの導入的内容についても学習します。

専門基礎系科目（例）

微分積分演習、線形代数演習、力学演習、工学基礎演習、都市工学概論、都市工学基礎演習、専門基礎英語、図学、基礎設計製図演習、構造力学演習、建設材料学、現代建築概論、アーバンデザイン、土質力学、水理学、建築環境デザイン学 など

都市工学科に関連する組織など

関連組織

低平地沿岸海域研究センター Institute of Lowland and Marine Research

佐賀平野は、世界的にも屈指の超軟弱な有明粘土地盤上に広がった低平地です。また、干満の差が最大で6mにも及ぶ有明海に面した地形環境から宿命的な洪水・浸水被害、地盤沈下被害が生じやすい地域です。そのため、低平地域の防災技術や環境技術に関する研究は重要であり、さらに近年では、流域環境や湾海沿岸の生態学的環境問題がクローズアップされ、当センターの重要な研究課題ともなっています。

「低平地」を切り口とする国内唯一の学術研究機関として、有明海沿岸低平地域の諸問題はもとより、世界的な低平地研究の中核的研究施設として研究を進めています。

国際在来知歴史学研究所

The International Institute on History of Indigenous Knowledge

日本と中国等近隣諸国の経済発展に在来知が果たしてきた役割を解明し、持続可能な21世紀の社会への展望を開くことを目的とした佐賀大学プロジェクト研究所です。歴史学、経済学、工学、医学などの異分野がまたがる新しい学際領域の研究を実施しています。本研究所は、毎年、国際シンポジウムを継続して実施中であり、その研究成果を出版等で情報発信すると共に、新しく在来知歴史学会という学会を立ち上げて活動を行っています。

特色のある都市工学科・専攻関連プロジェクト

PPGA（環境・エネルギー科学グローバル教育プログラム）

大学院博士前期／博士後期には、アジア諸国の発展と先端的科学技術開発の国際ネットワーク構築に貢献できる人材を育成するため、「環境・エネルギー科学グローバル教育プログラム」が開設されています。このプログラムでは日本人学生と留学生が共学し、すべての教育研究指導が英語で行なわれます。

地域空間再生デザイン・プログラム

都市工学科は、佐賀大学コミュニティ・キャンパス佐賀（文部科学省「地の拠点」事業）に参画しています。学生が地域とともに実践的に修学する地域空間再生デザイン・プログラムを立ち上げ、「まちなか再生」や「地域における豊かな空間創出」等に取り組んでいます。

表紙の写真

上：有明海の潮流シミュレーション結果と人工衛星画像による透明度の推定分布図

下：平成25年度卒業設計「風景への誘いー佐賀市、東名遺跡における媒体としての建築ー」

Information

佐賀大学理工学部都市工学科

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

Tel. 0952-28-8698 or 8583 Fax.0952-28-8699 or 8190

http://toshi1.civil.saga-u.ac.jp



佐賀大学理工学部都市工学科 都市環境基盤コース 建築・都市デザインコース

Saga Univ. Dept. of Civil Engineering & Architecture

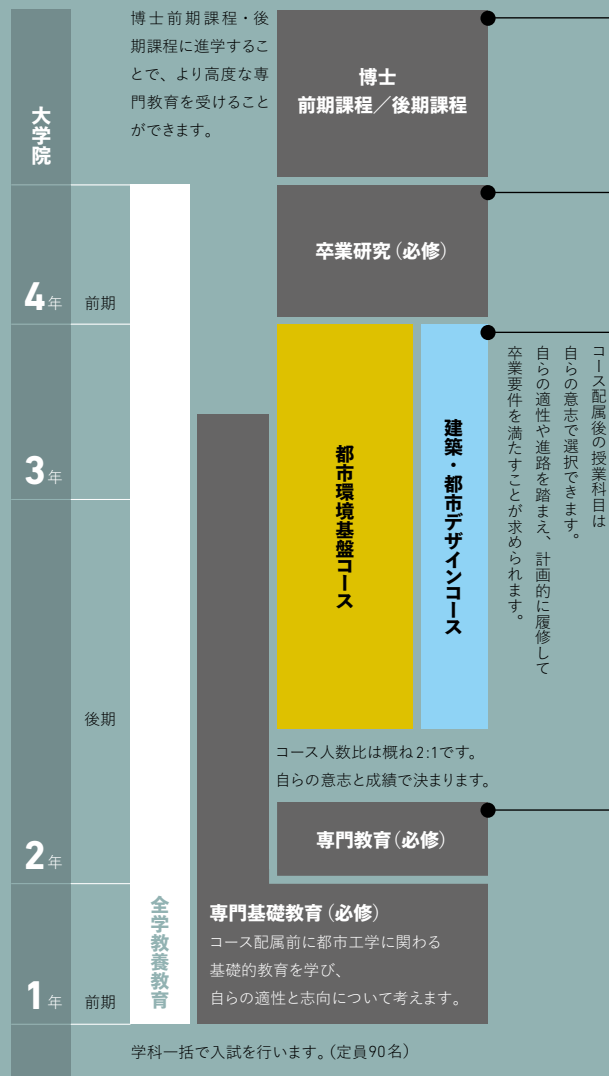
都市工学科・新カリキュラムの概要 Outline of New Curriculum

専門教育の基本的な考え方

都市には、交通や水のライフライン、建築物等の社会基盤の整備と安全確保が必要とされます。自然環境や歴史との調和、地域性やデザイン性も求める時代でもあります。そのためのコミュニケーション能力も大切です。都市工学科は、このような現代社会における都市工学分野の専門家の育成を目的として、数理的能力、コミュニケーション能力、美的感性といった基礎学力の向上を図りながら、社会基盤、都市環境、土木、建築などのあり方について個々の適性や志向に応じた教育を行います。建築士や技術士などの資格にも対応しています。

内容と特徴

都市工学科は、建設界における多種多様なニーズに応えられる人材を育成することを目的として、「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コース制を導入しています。その教育上の特徴は、専門科目のほとんどを選択科目にして、必修科目を最小限に絞っていることです。入学後は、「やりたいこと」と「できること」を峻別しつつ学ぶことができますが、同時に選択責任も求められますので、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志が重要です。



都市環境基盤コース Civil Engineering Study Program

都市の環境基盤は、自然との共生、防災なども含め、地域ニーズに対応した新しいあり方が求められています。

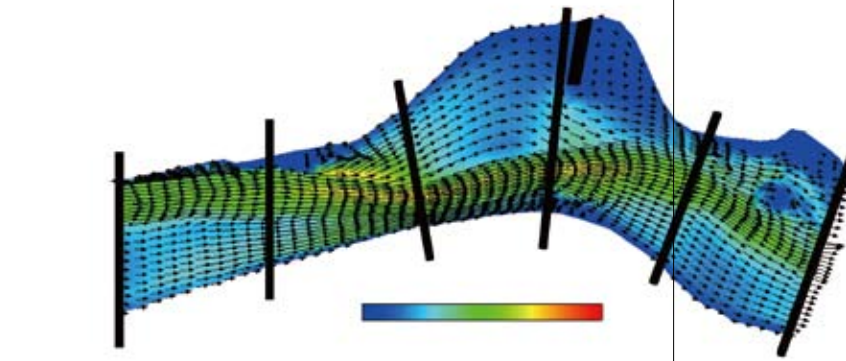
本コースは水環境、地盤工学といった科目群で構成され、卒業後の土木・建設分野において必要となる専門的な知識とその運用、ならびに総合的な問題解決力の修得を図り、これからの社会基盤整備に技術的に対応できる人材を育てます。



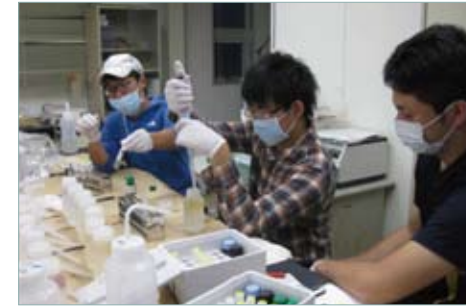
有明粘土のミクロ分析 (SEM 走査型電子顕微鏡)



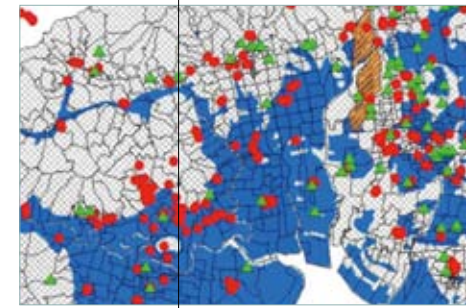
嘉瀬川石井樋大井手堰



洪水氾濫シミュレーション (嘉瀬川)



採水した水の水質分析

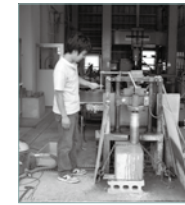


平成2年浸水実績と避難所・高齢者施設位置 (佐賀平野)

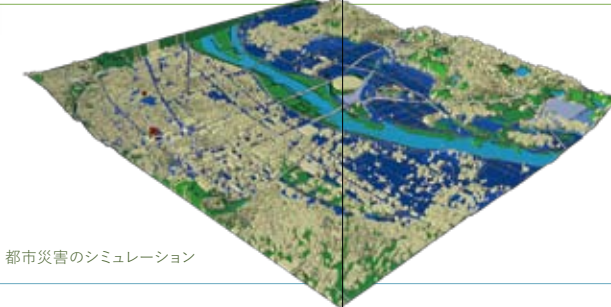


共通領域

共通領域として都市計画、交通計画、構造工学、材料工学などがあり、両コースにおいて求められる技術および知識を補完する教育を担っています。そして多様な地域ニーズに応える研究・技術開発・提案などを行っています。



コンクリートのコア抜き試験



都市災害のシミュレーション

建築・都市デザインコース Architecture & Urban Design Study Program

建築や都市空間の設計およびデザインは、総合的にものごとを組上げていく性格を持っています。

本コースでは、設計・デザイン系の演習科目およびそれを補完する理論や技術に関する科目の2つの科目群を軸に教育します。

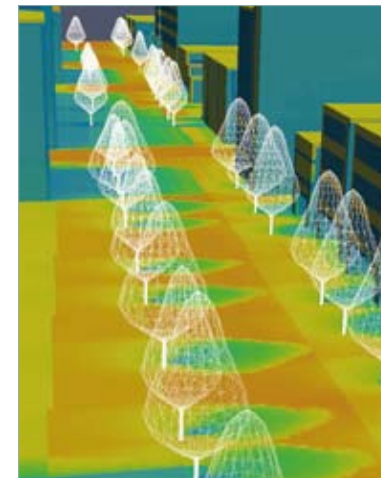
そして現代に対応した建築や地域に根ざしたデザインの方法を模索し、これからの地域社会のあり方を提示できるような人材を育てます。



平成26年度日本建築学会設計競技九州支部入選作品「連環の系」



平成25年度卒業設計優秀作品 (丹羽賞)
「溢れ出すテリトリー 一子飼やミ商店街における個人貸しスペースの提案」



数値解析を用いた屋外熱環境の解析
佐賀市中心市街地の表面温度分布画像 (夏季・15時)



環アジア国際セミナー2014 (韓国交通大学校・カザフ高等建築アカデミー・タマサート大学との国際ワークショップ)



伝統的建造物群の現状立面調査 (塩田町塩田津)

取得できる資格

大学在学中に受験できる資格など
技術士補、TOEICなど

所定の単位を修得すれば
大学卒業時に得られる免許
工業高校1種普通免許状

所定の単位を修得すれば、
大学卒業時または大学卒業後
実務経験を経て得られる資格
測量士補、測量士

大学卒業後実務経験を経て
受験できる資格
技術士、一級土木施工管理技士、
二級土木施工管理技士、一級建築士、
二級建築士 (指定科目の取得により実務
経験不要)

都市工学科を卒業すれば受験に必要な
実務経験年数の短縮が受けられる資格
コンクリート技士、コンクリート主任技士、
管工事管理技士、ダム管理主任技士

所定の単位を修得すれば、
一部の受験科目が免除される資格
火薬取扱保安責任者

就職先 (例)

公務員:
国家公務員、公団・社団、都道府県、
市町村

建設業:
総合建設業、道路建設業、工務店、
住宅メーカー、内装業、造園業、建材業

コンサルタント:
総合コンサルタント、
都市計画コンサルタント、
土木コンサルタント

設計事務所:
建築設計、構造設計、設備設計、
橋梁設計、造園設計、土木設計、測量

一般企業:
電力業、鉄道業、運送業、通信業、
不動産業、システム開発

教職等:
大学、一般高校、工業高校

